

### 第 3 章 調査の分析

平成 12 年度も、11 年度と同様に、覚せい剤乱用者を知っていると答えた者の人数から、できる限り正確に実際の乱用者を推定するために、質問 4 で、知っている乱用者の人数や性・年齢等を質問している。各調査月の乱用者数を知っていると回答した人数は、次表の（ア）列である。

表9.1 2000年・質問4の調査月別集計(回答者数)

調査月	総数	(ア)	(イ)	(ウ)	答えたくないわからない	
8月	1413	29	123	1190	4	67
9月	1432	29	117	1193	2	91
12月	1376	35	119	1144	6	72
合計	4221	93	359	3527	12	230

(ア)使用している人を知っている  
(イ)具体例は知らないが、少しはいると思う  
(ウ)いない

また、次の表は乱用者を知っている者の割合である。

表9.2 2000年の乱用者を知っている者の割合(%)

調査月	推定値下限	推定値	推定値上限
8月	1.3	2.0	2.7
9月	1.2	2.0	2.7
12月	1.7	2.5	3.3
合計	1.7	2.2	2.6

(注)信頼区間95%の推定を行っている。

推定値  $p$  は乱用者を知っている者の数を  $x$ 、回答者数を  $n$  とする時

$$p = \frac{x}{n}$$

で表すことができる。信頼区間 95% の区間推定の場合、推定値の下限  $p_1$  および上限  $p_2$  は、それぞれ次式を用いて計算することができる。

$$p_1 = p - 1.96 \sqrt{\frac{p(1-p)}{n}}$$

$$p_2 = p + 1.96 \sqrt{\frac{p(1-p)}{n}}$$

平成 11 年度調査における結果は次の通りであった。

表9.3 1999年・質問4の調査月別集計(回答者数)

調査月	総数	(ア)	修正値	(イ)	(ウ)	答えたくないわからない
8月	1394	45	39	132	1124	6
9月	1427	32	32	125	1187	4
12月	1341	32	32	98	1133	4
合計	4162	109	103	355	3444	14

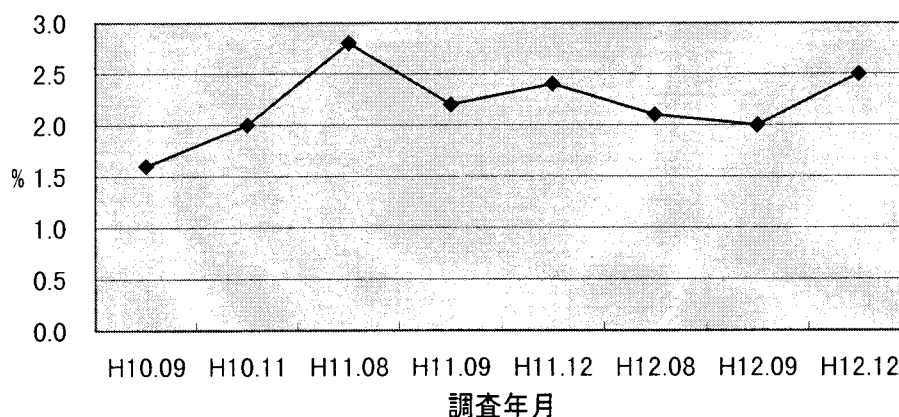
(ア)使用している人を知っている  
(イ)具体例は知らないが、少しはいると思う  
(ウ)いない  
(注)修正値とは8月調査の30歳男性の値をはずれ値とみなし、9月・12月調査から推定した値を用いた合計値のこと。

表9.4 1999年の乱用者を知っている者の割合(%)

調査月	推定値下限	推定値	推定値上限
8月	2.3	3.2	4.1
8月 修正値	1.9	2.7	3.6
9月	1.4	2.2	3.0
12月	1.5	2.3	3.2
合計	2.1	2.6	3.1
合計 修正値	2.0	2.4	2.9

(注)信頼区間95%の推定を行っている。

図3 乱用者を知っていると答えた人の割合



平成 11 年度の報告書にあるように、平成 11 年 8 月の男性 30 歳代で(ア)と答えた人数が多すぎるために、統計的外れ値とみなして補正を行っている。平成 10 年、11 年、12 年の調査において、質問 4 で(ア)を選んだ者は図 3 のようになっている。平成 11 年 9 月以降の 5 回の調査結果は、2%から 2.5%の間におさまり、ほぼ一定であると言える。

しかし、あくまでも、この値は「覚せい剤を使用している人を知っている」20 歳以上の割合である。この値から、「覚せい剤を使用している人」の割合を出すことが必要である。平成 10 年度の分析では

$$\boxed{\text{乱用者を知っている者の数} = \text{乱用者数}}$$

の仮説を用いている。すなわち、乱用者数の割合に 20 歳以上の人口をかけることにより乱用者数が 1998 年 9 月調査で約 160 万人、1998 年 11 月調査で約 190 万人としている。同様なことを行うためには上記の割合に 20 歳以上の人口、96930 千人を乗じれば良い。同一の乱用者を複数の回答者が知っているとは答えていないと仮定すればこの計算で乱用者が推定できる。しかしながら、調査方法を見れば、複数の回答者が同一の乱用者を知っていると答える場合もあることが分かる。さらに、一人の回答者が複数の乱用者も知っていることがあることも考慮に入れる必要がある。平成 11 年度の分析では、複雑な手続きを考えたが、今年度は、次の手続きを用いた。

- ・複数の回答者が同一の乱用者を知っている場合を考えず、全て別の乱用者とみなす。
- ・4 人以上の乱用者を知っていると答えた場合、1 年以内の乱用者の数は、詳しい回答がある 3 人分の回答パターンから推定する。
- ・使用している人を知っていると答えたにもかかわらず、その年齢・性別・使用時期を答えなかった場合は、期間を問わない乱用者を一人だけ知っているとした。

表 10 に結果を示すが、網掛け部分が推定を行った数値である。このようにしてもとめた乱用者数の推定値を表 11.1 に示す。表 11.2 に平成 11 年度の結果を参考のために示している。平成 12 年度の 3 回の調査結果は安定している。この結果から、「覚せい剤を使用している人を知っている」と答えた者 1 人当たり 0.38 人の「1 年以内に乱用している人」がいるものと見なすことにする。

表10.1 知っている乱用者数の推定(2000年8月調査)

回答者 性別・年齢	人数	知っている乱用者の性・年齢及び使用頻度						乱用者数				
		最近		二番目		三番目		期間を 問わない	1年以内	1年以内 乱用		
		性	年齢	時期	頻度	性	年齢	時期	頻度			
男 20歳代	2		3			2	4			2	0	0
男 20歳代	3		3	2		3	2	3	2	3	3	0
男 20歳代	1		4	6				1		1	0	0
男 20歳代	3		3	6	3	6		3	6	3	0	0
男 30歳代	1		3	6				1		1	0	0
男 40歳代	2		3	2	12	6		2		2	1	0
男 40歳代	2		3	4	3	4		2		2	0	0
男 40歳代	1		4	6				1		1	0	0
男 50歳代	1		4	5				1		1	0	0
男 50歳代	3		4	2	4	2	5	4		3	2	0
男 50歳代	1		4	6				1		1	0	0
男 50歳代	3		3	3	3	4	3	4		3	0	0
男 50歳代	1		4	3				1		1	0	0
男 50歳代	3		9	2	3	3	2	2		3	3	0
男 50歳代	2		4	3	4	3		2		2	0	0
男 50歳代	1		3	4				1		1	0	0
男 60歳代	2		3	2	3	3		2		2	2	0
女 20歳代	1		3	6				1		1	0	0
女 20歳代	4		3	1	3	1	9	1		4	4	4
女 30歳代	1		8	6				1		1	0	0
女 30歳代	1		4	1				1		1	1	1
女 30歳代	2		4	3	3	3		2		2	0	0
女 40歳代	1		2	6				1		1	0	0
女 50歳代	3		4	4	3	1	3	1		3	2	2
女 50歳代	1		3	6				1		1	0	0
女 50歳代	3		4	3	3	3	4	3		3	0	0
女 60歳代	9		4	6	4	6	4	6		9	0	0
女 60歳代	3		4	6	9	6	9	6		3	0	0
女 70歳代	1		3	1				1		1	1	1
合計		乱用者を知っていると回答した人は29名						62	19	8		

表10.2 知っている乱用者数の推定(2000年9月調査)

回答者 性別・年齢	人数	知っている乱用者の性・年齢及び使用頻度						乱用者数				
		最近		二番目		三番目		期間を 問わない	1年以内	1年以内 乱用		
		性	年齢	時期	頻度	性	年齢	時期	頻度			
男 20歳代	1			3	4					1	0	0
男 20歳代	1			3	6					1	0	0
男 20歳代	2			3	4	3	4			2	0	0
男 20歳代	1			3	6					1	0	0
男 20歳代	5			3	6	3	6	3	6	5	0	0
男 20歳代	5			2	3	3	2	3	4	5	1	0
男 20歳代	2			3	4	3	4			2	0	0
男 30歳代	2			3	6	3	6			2	0	0
男 30歳代	99									1	0	0
男 30歳代	5			3	1	4	1	8	1	5	4	4
男 30歳代	1			3	6					1	0	0
男 40歳代	2			3	6	4	6			2	0	0
男 40歳代	3			4	1	4	1	4	1	3	3	3
男 40歳代	9			4	3	3	3	8	3	9	0	0
男 40歳代	2			4	4	4	4			2	0	0
男 40歳代	1			3	6					1	0	0
男 50歳代	3			4	6	4	6	4	6	3	0	0
男 50歳代	1			4	4					1	0	0
男 60歳代	99									1	0	0
女 20歳代	2			2	2	2	6			2	1	0
女 20歳代	3			3	6	8	6	12	6	3	0	0
女 20歳代	2			2	4	7	4			2	0	0
女 30歳代	88									1	0	0
女 30歳代	2			3	1	3	1			2	2	2
女 40歳代	99									1	0	0
女 40歳代	1			2	2					1	1	0
女 50歳代	1			4	3					1	0	0
女 60歳代	6			3	6	3	6	1	1	6	1	1
合計		乱用者を知っていると回答した人は28名							67	13	10	

表10.3 知っている乱用者数の推定(2000年12月調査)

回答者 性別・年齢	人数	知っている乱用者の性・年齢及び使用頻度						乱用者数		
		最近		二番目		三番目		期間を 問わない	1年以内	1年以内 乱用
		性年齢	時期頻度	性年齢	時期頻度	性年齢	時期頻度			
男 20歳代	3	2	2	3	2	7	2	3	3	0
男 20歳代	5	8	3	3	1	1	2	5	2	1
男 20歳代	5	3	3	3	3	3	3	5	0	0
男 20歳代	2	8	4	3	4			2	0	0
男 20歳代	1	3	6					1	0	0
男 30歳代	3	8	1	1	3	3	3	3	1	1
男 30歳代	9	3	1	8	1	4	1	9	6	6
男 30歳代	3	3	1	2	1	2	1	3	3	3
男 40歳代	1	3	6					1	0	0
男 40歳代	1	4	6					1	0	0
男 40歳代	2	4	6	4	6			2	0	0
男 40歳代	2	4	3	4	3			2	0	0
男 50歳代	1	3	2					1	1	0
男 50歳代	2	9	2	4	2			2	2	0
男 60歳代	2	4	1	4	3			2	1	1
男 60歳代	3	2	1	1	6	12	6	3	1	1
男 70歳代	1	3	3					1	0	0
女 20歳代	2	3	4	8	4			2	0	0
女 20歳代	3	3	1	2	1	2	1	3	3	3
女 20歳代	2	3	3	3	3			2	0	0
女 20歳代	2	3	3	8	4			2	0	0
女 20歳代	1	3	6					1	0	0
女 20歳代	1	2	3					1	0	0
女 20歳代	1	3	3					1	0	0
女 30歳代	88							1	0	0
女 40歳代	2	4	2	4	6			2	0	0
女 40歳代	3	1	6	1	6	1	6	3	0	0
女 40歳代	1	4	4					1	0	0
女 50歳代	1	4	4					1	0	0
女 50歳代	3	4	5	3	5	4	5	3	0	0
女 50歳代	1	3	6					1	0	0
女 60歳代	3	7	3	7	3	7	3	3	0	0
女 60歳代	3	2	3	2	1	2	1	3	2	2
女 60歳代	1	3	1					3	1	1
女 60歳代	1	4	3					1	0	0
合計		乱用者を知っていると回答した人は35名						61	20	17

表11.1 覚せい剤乱用者数の推定(2000年度)

調査時期	回答者数	知っている乱用者数		
		期間を 問わない	1年以内	1年以内 乱用
8月	29	62	19	8
9月	28	67	13	10
12月	35	61	20	17
合計	92	190	52	35
		回答者1人当たりが 知っている乱用者数		
		期間を 問わない	1年以内	1年以内 乱用
8月	29	2.13	0.65	0.27
9月	28	2.39	0.46	0.35
12月	35	1.74	0.57	0.48
合計	92	2.06	0.56	0.38

表11.2 覚せい剤乱用者数の推定(1999年度)

調査時期	回答者数	知っている乱用者数					
		期間を問わない		1年以内		1年以内・乱用	
		最大	最小	最大	最小	最大	最小
8月	45	118	108	76	42	60	32
9月	32	87.2	81	60.6	22	41.4	7
12月	32	77.6	67	42.6	22	25.1	8
合計	109	282.8	256	179.2	86	126.5	47
		回答者1人当たりの知っている乱用者数					
		期間を問わない		1年以内		1年以内・乱用	
		最大	最小	最大	最小	最大	最小
8月		2.62	2.4	1.68	0.93	1.33	0.71
9月		2.72	2.53	1.89	0.68	1.29	0.21
12月		2.42	2.09	1.33	0.68	0.78	0.25
合計		2.59	2.34	1.64	0.78	1.16	0.43

## 第4章 まとめ

継続して調査をしているのは覚せい剤乱用者数がどのように変化しているかを知るためである。あくまでも調べていることは「乱用者を知っている人数」であるが、平成10年度と平成11年度を比べると、乱用者を知っている者の割合は1.7%から2.4%に増加している。

表12.1 平成10年度・11年度・12年度調査の比較

調査月	総数	(ア)	修正値	(イ)	(ウ)	答えたくないわからない
2000年8月	1413	29	29	123	1190	4
9月	1432	29	29	117	1193	2
12月	1376	35	35	119	1144	6
2000年合計	4221	93	93	359	3527	12
1999年8月	1394	45	39	132	1124	6
9月	1427	32	32	125	1187	4
12月	1341	32	32	98	1133	4
1999年合計	4162	109	103	355	3444	14
1998年9月	1419	23	23	118	1180	8
11月	1427	28	28	148	1169	2
1998年合計	2846	51	51	266	2349	10

(ア)使用している人を知っている  
 (イ)具体例は知らないが、少しはいると思う  
 (ウ)いない  
 (注)修正値とは1999年8月調査の30歳男性の値をはずれ値とみなし、9月・12月調査から推した値を用いた合計値のこと。

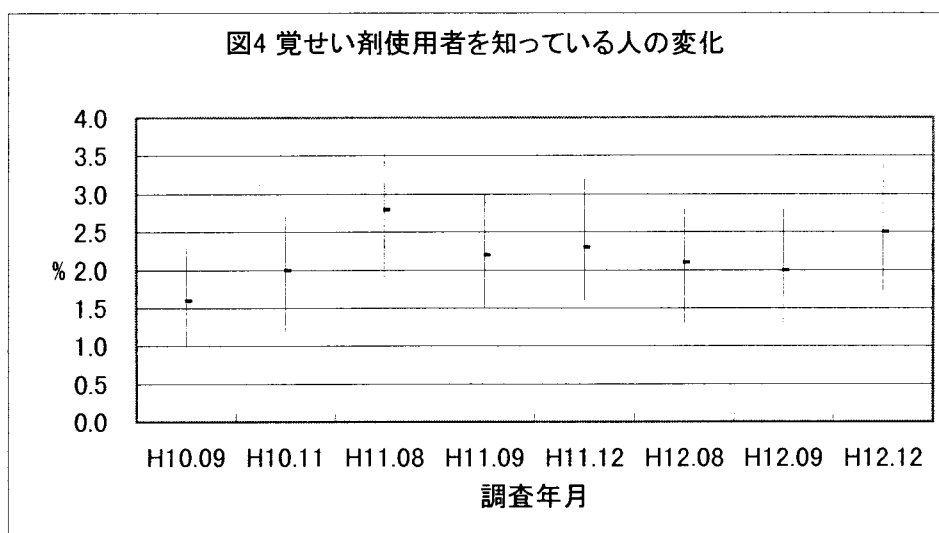
表12.2 乱用者を知っている者の割合の比較

調査月	推定値下限	推定値	推定値上限
2000年8月	1.3	2.1	2.8
9月	1.3	2.0	2.8
12月	1.7	2.5	3.4
2000年合計	1.8	2.2	2.6
1999年8月	2.3	3.2	4.2
8月 修正値	1.9	2.8	3.7
9月	1.5	2.2	3.0
12月	1.6	2.3	3.2
1999年合計	2.1	2.6	3.1
1999年合計 修正値	2.0	2.5	2.9
1998年9月	1.0	1.6	2.3
11月	1.2	2.0	2.7
1998年合計	1.3	1.8	2.3

(注)信頼区間95%の推定を行っている。

信頼区間 95%の幅をつけた「覚せい剤使用者を知っている人」の割合の変化は図4のようになる。





この結果から、成人男女の2から2.5%が覚せい剤使用者を知っていると結論できる。

乱用している者の推定数を出すこととは、その値が一人歩きする危険があるが、あえて表12の各年度の「乱用者を知っている者の割合の推定値」と表11の「回答者一人当たりの知っている乱用者数(1年以内・乱用)」を用いると乱用者は

表12.3 一年以内の乱用者数の推定結果

調査年度	20歳以上人口(千人)	乱用者を知っている割合 %	推定乱用者数(万人)	
			予測1	予測2
H10年度	96699	1.7	130	62
H11年度	96930	2.4	184	88
H12年度	97149	2.2	169	81

・予測1は平成11年度の解析結果の乱用者を知っていると答えた人一人当たり平均0.795人の乱用者を知っているものとした推定結果である。  
 ・予測2は平成12年度の解析結果の乱用者を知っていると答えた人一人当たり平均0.38人の乱用者を知っているものとした推定結果である。

のようになる。